بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

イスラームの英雄

第 22 巻

サイフッディーン・クトゥズ

アイン・ジャールートの英雄 — クルアーン、真正なハディース、歴史書に基づいて

يَٰٓأَيُّهَا ٱلَّذِينَ ءَامَنُوٓاْ إِذَا لَقِيتُمْ فِئَةً فَٱثْبُتُواْ وَٱذْكُرُواْ ٱللَّهَ كَثِيرًا لَّعَلَّكُمْ تُفْلِحُونَ

٤٥

「あなたがた信仰する者よ，（敵の）軍勢と遭遇する時は堅固に持して，専らアッラーを唱念せよ。恐らくあなたがたは勝利を得るであろう。」

戦利品章 8:45

HJ CHE ALIM HJ CHE HARON

quranscience.my | facebook.com/QuranScienceMY

quranscience.my で無料のデジタル版を読むには、こちらをスキャンしてください

© 2026 年 / 1448 AH quranscience.my — 無料の本。販売はできません。

謝辞

敵に出会ったとき、信者たちに堅く立ち、多くアッラーを念じるよう命じられたアッラーに讃えあれ。私たちの主、預言者ムハンマド ﷺ と、その家族と教友たち、そして善をもってその道に従った人々、とりわけアイン・ジャールートの英雄サイフッディーン・クトゥズに祝福と平安あれ。

この本を、最愛の妻

ザハラ・モハマド・ラティフ；

愛する子どもたち、

ムハンマド・ハフィズ、ヌール・ハズワニ、アブドゥル・ハキム、ヌール・ヒダヤ、ノル・アキラ、ノル・アティカ；

そして義理の子どもたち、

ファジラ、マレク、ハニン、ファイリザル、フィルワンに捧げます。

『イスラームの英雄』第 22 巻は、サイフッディーン・クトゥズの生涯を語ります。奴隷からマムルーク朝のスルタンとなり、イッズ・ブン・アブドゥッサラームのファトワーを受け入れ、バイバルスと和解し、アイン・ジャールートで「ワー・イスラーマー！」の叫びとともにモンゴルの進撃を止め、スルタンとなって 1 年もたたないうちに自らの将軍たちに殺された人物です。彼の過ちも含め、その物語は典拠について正直に語られています。この知識が「役に立つ知識（イルムン・ユンタファウ・ビヒ）」となりますように。

この電子書籍の表紙について

この電子書籍の表紙には、人間や動物は描かれていません。描かれているのは朝のパレスチナの***アイン・ジャールートの谷***で、緑の草原、野の花、オリーブの木、朝霧、そして遠くの丘が見えます。

ギルボア山のふもとの***泉***から***小川***が流れています——「アイン・ジャールート」とは「ゴリアテの泉」という意味です——。遠くには、戦いの後に静まり返った陣営の***空のテント***が見えます。

手前の露にぬれた草の上には、地面に転がった***マムルークの鋼の兜***——クトゥズが兜を地に投げ捨てて「ワー・イスラーマー！」と叫んだ瞬間を思い起こさせます——、***曲刀***、***丸い盾***、***弓と矢***、そしてフレグの脅迫状を思い起こさせる***広げられた手紙***が置かれています。

下部の***濃紺の帯***は***細い金色の線***で縁取られ、著者名が記されています。『イスラームの英雄』のすべての表紙をそろえるため、第 1 巻から第 21 巻と同じデザインです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

目次

サイフッディーン・クトゥズ 5
1. サイフッディーン・クトゥズとは誰か 6
2. 奴隷から指揮官へ 7
3. エジプトのマムルーク朝 8
4. バグダードの陥落 9
5. シリアのモンゴル 12
6. スルタンとなる 13
7. フレグの手紙と殺された使者 14
8. イッズ・ブン・アブドゥッサラームのファトワー 15
9. バイバルスとの和解 17
10. パレスチナへの進軍 19
11. アイン・ジャールートの戦い 20
12. 「ワー・イスラーマー！」 23
13. シリアの解放 25
14. サーリヒーヤでの暗殺 26
15. 検討すべき物語と数字 28
16. アイン・ジャールートの遺産 29
17. クトゥズの物語の典拠 30
18. 人物・場所・年表 32
19. サイフッディーン・クトゥズについてのよくある質問 34
20. 教訓と結び 36
参考文献 37
支援と寄付 38

色の見方：緑の枠 = クルアーンの節；金色の枠 = ハディース；茶色の枠 = スィーラの注（スィーラ書の伝承）；青い表 = 比較。

サイフッディーン・クトゥズ

ヒジュラ暦 656 年（西暦 1258 年）、フレグ・ハン率いるモンゴル軍はバグダードを破壊し、アッバース朝カリフと多くの住民を殺しました。2 年後にはアレッポとダマスカスが陥落しました。多くの人々は、地上にモンゴルを止められる力はもうないと考え、次の標的はエジプトでした。

ヒジュラ暦 658 年ラマダーン月 25 日の金曜日（西暦 1260 年 9 月 3 日）、パレスチナの*アイン・ジャールート*の谷で、かつて市場で売られた奴隷だったマムルーク朝のスルタン、*サイフッディーン・クトゥズ*は兜を地に投げ捨てて叫びました。*「ワー・イスラーマー！」*（ああ、イスラームよ！）。モンゴル軍は初めて会戦で敗れ、エジプトへの進撃は止められました。

この電子書籍は『*イスラームの英雄*』シリーズの第 22 巻です。クトゥズの物語は、マクリーズィーの『諸王朝の知識への道』、イブン・カスィールの『始まりと終わり』、ユーニーニーやイブン・タグリービルディーの著作などの歴史書に由来します。すべての物語の典拠と等級を――モンゴルの使者の殺害や、将軍たちによるクトゥズ自身の殺害のような快くない出来事も含めて――正直に示し、その教訓はクルアーンと真正なハディースに基づいています。

クトゥズの物語は、1 年に満たない統治で、最も危機的な瞬間にイスラーム世界を救った指導者の物語です。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

サイフッディーン・クトゥズとは誰か

彼は*アル＝マリク・アル＝ムザッファル・サイフッディーン・クトゥズ・ブン・アブドゥッラー・アル＝ムイッズィー*として知られ、エジプトのマムルーク朝第3代スルタンです。「アル＝ムイッズィー」とは、彼がスルタン、ムイッズ・イッズッディーン・アイバクのマムルーク（奴隷軍人）であったことを意味します。

イブン・タグリービルディーとザハビーは、クトゥズ自身がかつて、自分の本名は*マフムード・ブン・マムドゥード*で、スルタン、ジャラールッディーン・ホラズムシャーの甥であり、子どものころモンゴルに捕らえられて奴隷として売られたと語ったと伝えています。この家系の主張は彼自身の言葉だけに基づいており、確かめることはできません。

名前と称号

名前・称号	説明
クトゥズ	マムルークとして与えられたトルコ系の名
サイフッディーン	「宗教の剣」
アル＝マリク・アル＝ムザッファル	「勝利の王」
アル＝ムイッズィー	スルタン、ムイッズ・アイバクのマムルーク
マフムード・ブン・マムドゥード	本人の主張による本名

教訓

アッラーは御心のままに人を高められます。市場で売られた奴隷が、ウンマの救い手となりました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版

奴隷から指揮官へ

歴史の注：マムルークの制度

当時、エジプトとシリアのイスラーム諸国は、中央アジアやコーカサスから少年を買い取り、クルアーン、法学、兵法を教え、兵士や指揮官として解放していました。彼らは***マムルーク***（「所有された者」）と呼ばれました。その多くが将軍となり、ついにはスルタンとなりました。

クトゥズはダマスカスなどで何度か売られた後、エジプトのマムルークの将軍***イッズッディーン・アイバク***に買われました。彼は勇敢で忠実な兵士に育ち、昇進してアイバクの信頼する人物となりました。

伝承の等級：マクリーズィーの『諸王朝の知識への道』、イブン・カスィールの『始まりと終わり』、ユーニーニーの『時代の鏡・続編』、イブン・タグリービルディーの『輝く星々』などの歴史書に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

イブン・タグリービルディー『輝く星々』；マクリーズィー『諸王朝の知識への道』。

教訓

教育と規律は人の運命を変えることができます。低い出自は尊さを妨げるものではありません。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

エジプトのマムルーク朝

歴史の注：アイユーブ朝からマムルーク朝へ

ルイ 9 世率いる十字軍がエジプトに侵攻するなか、スルタン、サーリフ・アイユーブ（サラーフッディーンの甥の子）がヒジュラ暦 647 年に亡くなると、マムルークたちは***マンスーラ***で十字軍を破り、フランス王を捕らえました。まもなく権力はアイユーブ家からマムルークへと移りました。

イッズッディーン・アイバクはヒジュラ暦 648 年にスルタンとなりました。彼がヒジュラ暦 655 年に殺されると、約 15 歳の息子***マンスール・アリー***がスルタンとされ、クトゥズは国政を担う副スルタン（***ナーイブ・アッ＝サルタナ***）となりました。

伝承の等級：マクリーズィーの『諸王朝の知識への道』、イブン・カスィールの『始まりと終わり』、ユーニーニーの『時代の鏡・続編』、イブン・タグリービルディーの『輝く星々』などの歴史書に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

マクリーズィー『諸王朝の知識への道』；イブン・カスィール『始まりと終わり』。

教訓

この世の権力は常に移り変わります。残るのは、それを手にしている間に行った行いです。

バグダードの陥落

歴史の注：ヒジュラ暦 656 年

ヒジュラ暦 656 年サファル月（西暦 1258 年 2 月）、***フレグ・ハン***率いるモンゴル軍は、5 世紀以上にわたってアッバース朝カリフ国の都であった***バグダード***を奪いました。カリフ、ムスタアスィムは殺され、多くの住民が虐殺されました。図書館は破壊され、ティグリス川の水が書物の墨で黒く染まったと言われます。

イブン・カスィールは非常に大きな犠牲者数——80 万人、さらには 200 万人という説まで——を記しています。現代の歴史家はこれらの数字を誇張と考えますが、バグダードの破壊がイスラーム史上最大の災厄の一つであったことでは一致しています。

伝承の等級：バグダードの陥落は歴史的に確かですが、犠牲者数と一部の細部には議論があります。

参照：

イブン・カスィール『始まりと終わり』；マクリーズィー『諸王朝の知識への道』。

しかしアッラーの使徒 ﷺ は、このウンマが消え去ることはないと約束されていました。

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 1920 番

حَدَّثَنَا سَعِيدُ بْنُ مَنْصُورٍ، وَأَبُو الرَّبِيعِ الْعَتَكِيُّ، وَقُتَيْبَةُ بْنُ سَعِيدٍ، قَالُوا حَدَّثَنَا حَمَّادٌ، - وَهُوَ ابْنُ زَيْدٍ - عَنْ أَيُّوبَ، عَنْ أَبِي قِلاَبَةَ، عَنْ أَبِي أَسْمَاءَ، عَنْ ثَوْبَانَ، قَالَ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم " لاَ تَزَالُ طَائِفَةٌ مِنْ أُمَّتِي ظَاهِرِينَ عَلَى الْحَقِّ لاَ يَضُرُّهُمْ مَنْ خَذَلَهُمْ حَتَّى يَأْتِيَ أَمْرُ اللَّهِ وَهُمْ كَذَلِكَ " . وَلَيْسَ فِي حَدِيثِ قُتَيْبَةَ " وَهُمْ كَذَلِكَ " .

訳：

サウバーンは言いました。アッラーの使徒 ﷺ はこう言われた。 *「私のウンマの中の一団は、常に真理の上に勝ち続けるであろう。彼らを見捨てる者も彼らを害することはできない。アッラーの命令が来るまで、彼らはそのままであろう。」*

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：サイード・ブン・マンスール、アブー・アッ＝ラビーウ・アタキー、クタイバ・ブン・サイード ← ハンマード・ブン・ザイド ← アイユーブ・サフティヤーニー ← アブー・キラーバ ← アブー・アスマー・ラハビー ← アッラーの使徒 ﷺ の解放奴隷サウバーン رضي الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』統治の書、第 1920 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に次いで最も真正なハディース集『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠： sunnah.com/muslim:1920a

そしてアッラーは、信者たちが絶望することを禁じておられます。

イムラーン家章 3:139

وَلَا تَهِنُوا۟ وَلَا تَحْزَنُوا۟ وَأَنتُمُ ٱلْأَعْلَوْنَ إِن كُنتُم مُّؤْمِنِينَ ﴿١٣٩﴾

それで気力を失ったり，また絶望してはならない。あなたがたが信者ならば，必ず勝利を得るのである。

訳：三田了一 — quran.com/3:139

教訓

どれほど大きな災厄も、このウンマを終わらせはしません。バグダードの闇の後に、アイン・ジャールートの光が来ました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

シリアのモンゴル

歴史の注：陥落した町々

ヒジュラ暦 658 年（西暦 1260 年）の初め、フレグはユーフラテス川を渡りました。***アレッポ***は包囲されて陥落し、多くの住民が殺されました。ダマスカスのアイユーブ朝君主ナースィル・ユースフは逃亡し、***ダマスカス***は戦わずに降伏しました。

モンゴル軍はガザまで進みました。この地域で大きなイスラーム勢力として残ったのはエジプトだけで、シリアの人々の多くはカイロへ逃れました。そのとき大ハーン、モンケの死の知らせがフレグに届き、彼は軍の大部分を率いて東へ引き揚げ、指揮官***キトブカ***に依然として大きな兵力を残しました。

伝承の等級：マクリーズィーの『諸王朝の知識への道』、イブン・カスィールの『始まりと終わり』、ユーニーニーの『時代の鏡・続編』、イブン・タグリービルディーの『輝く星々』などの歴史書に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

マクリーズィー『諸王朝の知識への道』；ユーニーニー『時代の鏡・続編』；イブン・カスィール『始まりと終わり』。

教訓

すべての扉が閉ざされたように見えるとき、アッラーは思いもよらないところから道を開かれます。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

スルタンとなる

歴史の注：少年スルタンの廃位

ヒジュラ暦657年ズー・アル＝カアダ月（西暦1259年11月）、モンゴルの脅威が迫るなか、クトゥズは若いスルタン、マンスール・アリーを廃して王位に就きました。マクリーズィーによれば、彼は将軍たちと学者たちの前で、国家には戦いを率いる強いスルタンが必要であり、子どもでは務まらないと主張しました。

また彼は「私はただ、モンゴルに対して団結したいだけだ。勝利の後は、望む者をスルタンに選べばよい」と言ったとも伝えられます。この王位の奪取は今も一部の歴史家に疑問視されており、ここに正直に記します。

伝承の等級：マクリーズィーの『諸王朝の知識への道』、イブン・カスィールの『始まりと終わり』、ユーニーニーの『時代の鏡・続編』、イブン・タグリービルディーの『輝く星々』などの歴史書に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：
マクリーズィー『諸王朝の知識への道』；イブン・タグリービルディー『輝く星々』。

教訓

危機の時には断固とした指導が必要です。しかし正直な歴史は、その権力がどのように得られたかも記録します。

© 2026年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

フレグの手紙と殺された使者

歴史の注：「王の中の王」からの脅し

フレグは、脅しに満ちた手紙を携えた使者をカイロに送りました。マクリーズィーはその一部を書き写しています。モンゴルは自らを罰するために神から遣わされた軍だと称し、手遅れになる前にエジプトが降伏するよう求めました。「城塞も我らを止められず、軍勢も我らを阻めない」と。

クトゥズは将軍たちと協議し、戦うことを決めました。マクリーズィーによれば、彼は人々の決意を固めるため、使者たちを殺してその首をカイロのズワイラ門に吊るすよう命じました。

この行為は、使者を保護したアッラーの使徒 ﷺ の慣行に反するものです。『スナン・アビー・ダーウード』（第 2761 番）には、預言者がムサイリマの二人の使者に「もし使者が殺されないものでなかったなら、お前たちの首をはねていただろう」と言われたと伝えられています。この出来事はここに過ちとして正直に記します。

伝承の等級： マクリーズィーの『諸王朝の知識への道』、イブン・カスィールの『始まりと終わり』、ユーニーニーの『時代の鏡・続編』、イブン・タグリービルディーの『輝く星々』などの歴史書に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

マクリーズィー『諸王朝の知識への道』；イブン・カスィール『始まりと終わり』；『スナン・アビー・ダーウード』2761。

教訓

敵に対する勇気は、シャリーアに背くことを許すものではありません。英雄もまた過ちを犯しうる人間です。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

イッズ・ブン・アブドゥッサラームのファトワー

歴史の注：学者たちのスルタン

軍の費用をまかなうため、クトゥズは民に追加の税を課そうとしました。彼はファトワー（法的見解）を求めて学者と裁判官を集めました。「学者たちのスルタン」と呼ばれたシャーフィイー派の大学者***イッズ・ブン・アブドゥッサラーム***はこう述べました。敵が攻めてきたときに民から取ることは許される。ただし、***国庫に何も残っていない***こと、そして***将軍たちがまず自らの金、装飾品、財産を差し出し***、各人が一般の人と同じく馬と武器だけを持つようになること、という条件のもとでである、と。

伝えられるところでは、クトゥズはこのファトワーを受け入れ、自らと将軍たちから始めました。

伝承の等級：マクリーズィーの『諸王朝の知識への道』、イブン・カスィールの『始まりと終わり』、ユーニーニーの『時代の鏡・続編』、イブン・タグリービルディーの『輝く星々』などの歴史書に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

スブキー『シャーフィイー派大名士列伝』；マクリーズィー『諸王朝の知識への道』。

指導者への誠実な助言は宗教の一部です。

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 55 番

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ عَبَّادٍ الْمَكِّيُّ، حَدَّثَنَا سُفْيَانُ، قَالَ قُلْتُ لِسُهَيْلٍ إِنَّ عَمْرًا حَدَّثَنَا عَنِ الْقَعْقَاعِ، عَنْ أَبِيكَ، قَالَ وَرَجَوْتُ أَنْ يُسْقِطَ، عَنِّي رَجُلاً قَالَ فَقَالَ سَمِعْتُهُ مِنَ الَّذِي سَمِعَهُ مِنْهُ أَبِي كَانَ صَدِيقًا لَهُ بِالشَّامِ ثُمَّ حَدَّثَنَا سُفْيَانُ عَنْ سُهَيْلٍ عَنْ عَطَاءِ بْنِ يَزِيدَ عَنْ تَمِيمٍ الدَّارِيِّ أَنَّ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم قَالَ " الدِّينُ النَّصِيحَةُ " قُلْنَا لِمَنْ قَالَ " لِلَّهِ وَلِكِتَابِهِ وَلِرَسُولِهِ وَلأَئِمَّةِ الْمُسْلِمِينَ وَعَامَّتِهِمْ " .

訳：

タミーム・アッ＝ダーリーの伝えるところでは、預言者 ﷺ はこう言われました。*「宗教とは誠実な助言（ナスィーハ）である。」* 私たちは言った。誰に対してですか。預言者は言われた。*「アッラーに、その啓典に、その使徒に、ムスリムの指導者たちに、そして一般の人々に対してである。」*

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ムハンマド・ブン・アッバード・マッキー ← スフヤーン・ブン・ウヤイナ ← スハイル・ブン・アビー・サーリフ ← アター・ブン・ヤズィード・ライスィー ← タミーム・アッ＝ダーリー رضي الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』信仰の書、第 55 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に次いで最も真正なハディース集『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠： sunnah.com/muslim:55a

教訓

よい指導者は学者の助言に耳を傾け、民に犠牲を求める前に、まず自らから始めます。

バイバルスとの和解

歴史の注：かつての対立者が同盟者に

ルクヌッディーン・バイバルスは勇敢なマムルークの指揮官でした。数年前、マムルークの間の争いの後にシリアへ逃れており、クトゥズとの関係は緊張していました。モンゴルの脅威が現実となると、バイバルスはクトゥズに手紙を書いて安全の保障を求めました。クトゥズは彼を受け入れ、厚遇し、軍の先鋒の指揮を任せました。

この和解は、最も必要とされたときに、マムルークの最もすぐれた二人の指揮官を一つにしました。

伝承の等級：マクリーズィーの『諸王朝の知識への道』、イブン・カスィールの『始まりと終わり』、ユーニーニーの『時代の鏡・続編』、イブン・タグリービルディーの『輝く星々』などの歴史書に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

マクリーズィー『諸王朝の知識への道』；イブン・タグリービルディー『輝く星々』。

クルアーンは、争いが力を弱めると警告しています。

戦利品章 8:46

وَأَطِيعُواْ ٱللَّهَ وَرَسُولَهُۥ وَلَا تَنَٰزَعُواْ فَتَفۡشَلُواْ وَتَذۡهَبَ رِيحُكُمۡۖ وَٱصۡبِرُوٓاْۚ إِنَّ ٱللَّهَ مَعَ ٱلصَّٰبِرِينَ ٤٦

あなたがたはアッラーと使徒に従いなさい。そして論争して意気をくじかれ，力を失なってはならない。耐えなさい。アッラーは耐え忍ぶ者と共におられる。

訳：三田了一 — quran.com/8:46

そしてムスリムは兄弟を見捨てません。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 2442 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ بُكَيْرٍ، حَدَّثَنَا اللَّيْثُ، عَنْ عُقَيْلٍ، عَنِ ابْنِ شِهَابٍ، أَنَّ سَالِمًا، أَخْبَرَهُ أَنَّ عَبْدَ اللَّهِ بْنَ عُمَرَ ـ رضى الله عنهما ـ أَخْبَرَهُ أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ " الْمُسْلِمُ أَخُو الْمُسْلِمِ، لاَ يَظْلِمُهُ وَلاَ يُسْلِمُهُ، وَمَنْ كَانَ فِي حَاجَةِ أَخِيهِ كَانَ اللَّهُ فِي حَاجَتِهِ، وَمَنْ فَرَّجَ عَنْ مُسْلِمٍ كُرْبَةً فَرَّجَ اللَّهُ عَنْهُ كُرْبَةً مِنْ كُرُبَاتِ يَوْمِ الْقِيَامَةِ، وَمَنْ سَتَرَ مُسْلِمًا سَتَرَهُ اللَّهُ يَوْمَ الْقِيَامَةِ ".

訳：

アブドゥッラー・ブン・ウマルの伝えるところでは、アッラーの使徒 ﷺ はこう言われました。*「ムスリムはムスリムの兄弟である。彼を不当に扱わず、（敵に）見捨てない。* 兄弟の必要を満たす者には、アッラーがその必要を満たされる。ムスリムを一つの苦難から救う者は、アッラーが復活の日の苦難の一つから救われる。ムスリムの欠点を覆う者は、アッラーが復活の日にその欠点を覆われる。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ヤフヤー・ブン・ブカイル ← ライス・ブン・サアド ← ウカイル・ブン・ハーリド ← イブン・シハーブ・ズフリー ← サーリム・ブン・アブドゥッラー ← アブドゥッラー・ブン・ウマル رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』不正の書、第 2442 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:2442

教訓

共通の敵に立ち向かうには、昔の争いを脇に置く覚悟が必要です。

パレスチナへの進軍

歴史の注：先に打って出る決断

多くの将軍は、モンゴルに対して出陣することをためらっていました。マクリーズィーによれば、クトゥズは彼らにこう言いました。「ムスリムの将軍たちよ、あなたがたは長く国庫から糧を得てきたのに、今になって戦いを拒むのか。私は出陣する。ジハードを選ぶ者は私に従え。そうでない者は家に帰れ。ムスリムの女性たちの罪は、退く者たちが負うであろう。」

ヒジュラ暦 658 年シャアバーン月、マムルーク軍はエジプトを出発しました。クトゥズはエジプトでモンゴルを待つのではなく、パレスチナへ進むことを選びました。同じくモンゴルを恐れていたアッコンの十字軍は、マムルーク軍が自領を通過して物資を買うことを許しましたが、戦いには加わりませんでした。

伝承の等級： マクリーズィーの『諸王朝の知識への道』、イブン・カスィールの『始まりと終わり』、ユーニーニーの『時代の鏡・続編』、イブン・タグリービルディーの『輝く星々』などの歴史書に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

マクリーズィー『諸王朝の知識への道』；ユーニーニー『時代の鏡・続編』。

教訓

指導者の勇気は従う者たちに伝わります。一人が前に進み出ることで、全軍の士気がよみがえることがあります。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アイン・ジャールートの戦い

歴史の注：ヒジュラ暦 658 年ラマダーン月 25 日

両軍は、パレスチナのギルボア山のふもとの谷 ***アイン・ジャールート***（「ゴリアテの泉」）で、***ヒジュラ暦 658 年ラマダーン月 25 日***の金曜日（西暦 1260 年 9 月 3 日）に相まみえました。クトゥズが金曜日を選んだのは、イスラーム世界中の説教師たちがムスリム軍の勝利を祈っている時刻に戦いが行われるようにするためだったと伝えられます。

バイバルスは先鋒を率いてモンゴル軍を谷へと誘い込み、そこではマムルークの本隊が待ち構えていました。戦いは激しく、モンゴル軍の突撃はムスリム軍の左翼をほとんど崩しかけました。

伝承の等級：マクリーズィーの『諸王朝の知識への道』、イブン・カスィールの『始まりと終わり』、ユーニーニーの『時代の鏡・続編』、イブン・タグリービルディーの『輝く星々』などの歴史書に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

マクリーズィー『諸王朝の知識への道』；ユーニーニー『時代の鏡・続編』；イブン・カスィール『始まりと終わり』。

アッラーは、敵に出会ったとき堅く立ち、多くアッラーを念じるよう命じておられます。

戦利品章 8:45

يَٰٓأَيُّهَا ٱلَّذِينَ ءَامَنُوٓاْ إِذَا لَقِيتُمۡ فِئَةٗ فَٱثۡبُتُواْ وَٱذۡكُرُواْ ٱللَّهَ كَثِيرٗا لَّعَلَّكُمۡ تُفۡلِحُونَ ٤٥

あなたがた信仰する者よ，（敵の）軍勢と遭遇する時は堅固に持して，専らアッラーを唱念せよ。恐らくあなたがたは勝利を得るであろう。

訳：三田了一 — quran.com/8:45

そしてアッラーの使徒 ﷺ は、戦場での信者の態度を教えられました。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 2966 番

حَدَّثَنَا عَبْدُ اللَّهِ بْنُ مُحَمَّدٍ، حَدَّثَنَا مُعَاوِيَةُ بْنُ عَمْرٍو، حَدَّثَنَا أَبُو إِسْحَاقَ، عَنْ مُوسَى بْنِ عُقْبَةَ، عَنْ سَالِمٍ أَبِي النَّضْرِ، مَوْلَى عُمَرَ بْنِ عُبَيْدِ اللَّهِ وَكَانَ كَاتِبًا لَهُ قَالَ كَتَبَ إِلَيْهِ عَبْدُ اللَّهِ بْنُ أَبِي أَوْفَى ـ رضى الله عنهما ـ فَقَرَأْتُهُ أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم فِي بَعْضِ أَيَّامِهِ الَّتِي لَقِيَ فِيهَا انْتَظَرَ حَتَّى مَالَتِ الشَّمْسُ. ثُمَّ قَامَ فِي النَّاسِ قَالَ " أَيُّهَا النَّاسُ، لاَ تَتَمَنَّوْا لِقَاءَ الْعَدُوِّ، وَسَلُوا اللَّهَ الْعَافِيَةَ، فَإِذَا لَقِيتُمُوهُمْ فَاصْبِرُوا، وَاعْلَمُوا أَنَّ الْجَنَّةَ تَحْتَ ظِلاَلِ السُّيُوفِ، ثُمَّ قَالَ اللَّهُمَّ مُنْزِلَ الْكِتَابِ وَمُجْرِيَ السَّحَابِ وَهَازِمَ الأَحْزَابِ، اهْزِمْهُمْ وَانْصُرْنَا عَلَيْهِمْ ".

訳：

サーリム・アブー・アン＝ナドルは言いました。アブドゥッラー・ブン・アビー・アウファーは（ウマル・ブン・ウバイドゥッラーに）こう書き送った。アッラーの使徒 ﷺ は敵と相まみえたある日、太陽が南中を過ぎるまで待ち、人々の前に立ってこう言われた。*「人々よ、敵に出会うことを望んではならない。アッラーに安寧を願いなさい。だが彼らに出会ったなら、忍耐しなさい。そして楽園は剣の陰の下にあることを知りなさい。」* そして祈られた。「啓典を下される御方、雲を動かされる御方、連合軍を打ち破られた御方、アッラーよ、彼らを打ち破り、私たちに彼らに対する勝利をお与えください。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アブドゥッラー・ブン・ムハンマド・ムスナディー ← ムアーウィヤ・ブン・アムル ← アブー・イスハーク・ファザーリー ← ムーサー・ブン・ウクバ ← サーリム・アブー・アン＝ナドル ← アブドゥッラー・ブン・アビー・アウファー رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』ジハードと遠征の書、第 2966 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:2966

教訓

信者は戦いを求めませんが、戦いが来たときには堅く立ち、忍耐します。

「ワー・イスラーマー！」

歴史の注：投げ捨てられた兜

ムスリムの戦列が揺らぎ始めたとき、マクリーズィーとイブン・カスィールによれば、クトゥズは兜を地に投げ捨て、声の限りに三度叫びました。*「ワー・イスラーマー！」*（ああ、イスラームよ！）。そして護衛とともに敵の真ん中へ突入しました。兜を脱いだスルタンの姿を見た兵士たちは奮い立ち、攻撃に転じました。

モンゴルの指揮官***キトブカ***は戦死し、モンゴル軍は崩れて敗走しました。勝利の後、クトゥズは馬を降りて感謝のサジダ（ひれ伏し）をし、祈ったと伝えられます。これはモンゴルが会戦で喫した最初の大敗でした。

伝承の等級：マクリーズィーの『諸王朝の知識への道』、イブン・カスィールの『始まりと終わり』、ユーニーニーの『時代の鏡・続編』、イブン・タグリービルディーの『輝く星々』などの歴史書に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

マクリーズィー『諸王朝の知識への道』；イブン・カスィール『始まりと終わり』；ユーニーニー『時代の鏡・続編』。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

彼の叫びは自分のためではなく、イスラームのためでした。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 2810 番

حَدَّثَنَا سُلَيْمَانُ بْنُ حَرْبٍ، حَدَّثَنَا شُعْبَةُ، عَنْ عَمْرٍو، عَنْ أَبِي وَائِلٍ، عَنْ أَبِي مُوسَى - رضى الله عنه - قَالَ جَاءَ رَجُلٌ إِلَى النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم فَقَالَ الرَّجُلُ يُقَاتِلُ لِلْمَغْنَمِ، وَالرَّجُلُ يُقَاتِلُ لِلذِّكْرِ، وَالرَّجُلُ يُقَاتِلُ لِيُرَى مَكَانُهُ، فَمَنْ فِي سَبِيلِ اللَّهِ قَالَ " مَنْ قَاتَلَ لِتَكُونَ كَلِمَةُ اللَّهِ هِيَ الْعُلْيَا فَهُوَ فِي سَبِيلِ اللَّهِ ".

訳：

アブー・ムーサーは言いました。ある男が預言者 ﷺ のもとに来て言った。戦利品のために戦う者、名を上げるために戦う者、自分の地位を見せるために戦う者がいます。誰がアッラーの道にあるのですか。預言者は言われた。 ***「アッラーの言葉が最も高くなるために戦う者、その者がアッラーの道にある。」***

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：スライマーン・ブン・ハルブ ← シュウバ・ブン・アル＝ハッジャージ ← アムル・ブン・ムッラ ← アブー・ワーイル・シャキーク・ブン・サラマ ← アブー・ムーサー・アシュアリー رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』ジハードと遠征の書、第 2810 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:2810

教訓

自ら危険に身をさらす指導者は、全軍に勇気を取り戻させます。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron ― ムスリムのための無料版 |

シリアの解放

歴史の注：ダマスカスとアレッポ

アイン・ジャールートの後、モンゴル軍の残党はベイサーンまで追撃され、再び敗れました。ヒジュラ暦 658 年ラマダーン月の終わりにクトゥズは***ダマスカス***に入り、人々は喜んで彼を迎えました。バイバルスはさらにモンゴルを***アレッポ***まで追い、シリアから彼らを一掃しました。

クトゥズはシリアの行政を立て直し、主要都市に総督を任命し、エジプトとシリアをマムルーク朝のもとに統一しました。

伝承の等級：マクリーズィーの『諸王朝の知識への道』、イブン・カスィールの『始まりと終わり』、ユーニーニーの『時代の鏡・続編』、イブン・タグリービルディーの『輝く星々』などの歴史書に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

マクリーズィー『諸王朝の知識への道』；ユーニーニー『時代の鏡・続編』；イブン・カスィール『始まりと終わり』。

教訓

勝利の後には再建が続かなければなりません。町の解放は終わりではなく、始まりです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

サーリヒーヤでの暗殺

歴史の注：1年に満たない統治

エジプトへの帰途、***ヒジュラ暦658年ズー・アル＝カアダ月16日***（西暦1260年10月）、サーリヒーヤの近くで、クトゥズは狩りに出ていたところを、バイバルスを含むマムルークの将軍たちに殺されました。歴史家たちはいくつかの理由を挙げています。そのなかには、クトゥズがバイバルスにアレッポを与えると約束しながら果たさなかったことや、以前のマムルーク間の争いから続く古い恨みが含まれます。

その後、バイバルスがスルタンとなりました。クトゥズの統治は1年に満たないものでした。彼はクサイルに葬られ、遺体はのちにカイロへ移されました。この出来事は二人の英雄の歴史の一部であるため、ここに正直に記します。

伝承の等級：マクリーズィーの『諸王朝の知識への道』、イブン・カスィールの『始まりと終わり』、ユーニーニーの『時代の鏡・続編』、イブン・タグリービルディーの『輝く星々』などの歴史書に、ハディース学者の基準による伝承経路なしで伝えられています。歴史として受け入れられていますが、真正なハディースのように典拠（フッジャ）として用いることはできません。

参照：

マクリーズィー『諸王朝の知識への道』；イブン・タグリービルディー『輝く星々』；イブン・カスィール『始まりと終わり』。

© 2026年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アッラーの使徒 ﷺ は、ムスリム同士の流血に厳しく警告されました。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 31 番

حَدَّثَنَا عَبْدُ الرَّحْمَنِ بْنُ الْمُبَارَكِ، حَدَّثَنَا حَمَّادُ بْنُ زَيْدٍ، حَدَّثَنَا أَيُّوبُ، وَيُونُسُ، عَنِ الْحَسَنِ، عَنِ الأَحْنَفِ بْنِ قَيْسٍ، قَالَ ذَهَبْتُ لأَنْصُرَ هَذَا الرَّجُلَ، فَلَقِيَنِي أَبُو بَكْرَةَ فَقَالَ أَيْنَ تُرِيدُ قُلْتُ أَنْصُرُ هَذَا الرَّجُلَ. قَالَ ارْجِعْ فَإِنِّي سَمِعْتُ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ " إِذَا الْتَقَى الْمُسْلِمَانِ بِسَيْفَيْهِمَا فَالْقَاتِلُ وَالْمَقْتُولُ فِي النَّارِ ". فَقُلْتُ يَا رَسُولَ اللَّهِ هَذَا الْقَاتِلُ فَمَا بَالُ الْمَقْتُولِ قَالَ " إِنَّهُ كَانَ حَرِيصًا عَلَى قَتْلِ صَاحِبِهِ ".

訳：

アフナフ・ブン・カイスは言いました。私は（内乱のさなか）この人を助けに出かけた。するとアブー・バクラが私に会い、どこへ行くのかと尋ねた。この人を助けに、と答えると、彼は言った。帰りなさい。私はアッラーの使徒 ﷺ がこう言われるのを聞いたのだ。*「二人のムスリムが剣をもって相まみえるなら、殺した者も殺された者も火獄にいる。」* 私は言った。アッラーの使徒よ、殺した者はそうでしょうが、殺された者はなぜですか。預言者は言われた。「彼もまた相手を殺すことに熱心だったからである。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アブドゥッラフマーン・ブン・アル＝ムバーラク ← ハンマード・ブン・ザイド ← アイユーブ・サフティヤーニーとユーヌス・ブン・ウバイド ← ハサン・バスリー ← アフナフ・ブン・カイス ← アブー・バクラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』信仰の書、第 31 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:31

教訓

ムスリム同士の権力争いは、最も尽くした者の命さえ奪いかねません。敵に勝っても、内なる争いから安全であるとは限りません。

検討すべき物語と数字

典拠の注：事実とイメージのあいだ

クトゥズの物語には、注意深く検討すべき点がいくつかあります。***第一に***、ホラズム王家の血筋であるという話は彼自身の言葉だけに基づいています。***第二に***、バグダードで数百万人が死んだという数字は誇張と考えられています。***第三に***、アイン・ジャールートでの両軍の規模は確かにはわかっていません。現代の推計はさまざまで、そこにいたモンゴル軍はフレグの軍のごく一部にすぎませんでした。

第四に、アイン・ジャールート以前のモンゴルが「一度も負けなかった」というイメージは完全に正確ではありません。たとえばパルワーンでジャラールッディーン・ホラズムシャーに小さな敗北を喫しています。それでもアイン・ジャールートは、彼らの西進を永久に止めた最初の大敗でした。

伝承の等級： 主な出来事は確かですが、一部の数字と細部は不確かです。

参照：
マクリーズィー、イブン・カスィール、ユーニーニー、そして現代の歴史研究の比較。

教訓

典拠に対する誠実さは、アイン・ジャールートの偉大さを損なうものではなく、物語をより信頼できるものにします。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アイン・ジャールートの遺産

アイン・ジャールートの勝利は、エジプト、ヒジャーズ、北アフリカを、バグダードを襲ったような破壊から救いました。クトゥズが守ったマムルーク朝は2世紀半以上続き、カイロはイスラームの学問の新たな中心となりました。

遺産	その影響
モンゴルを止めたこと	エジプトと北アフリカへの進撃が止まった
ヒジャーズを救ったこと	マッカとマディーナが守られた
マムルーク朝	250年以上続いた
カイロ	バグダード陥落後の学問の中心となった
指導の手本	最前線に立つ指導者

クトゥズの資質と人柄

資質	彼の物語からの例
勇敢	兜を投げ捨てて敵に突入したこと
イスラームへの誠実さ	「ワー・イスラーマー！」
学者に耳を傾ける	イッズ・ブン・アブドゥッサラームのファトワー
団結を重んじる	バイバルスとの和解
決断力	出陣して戦うことを選んだこと
一人の人間	使者の殺害；王位の得方

教訓

犠牲に満ちたわずか1年が、何世紀もの歴史を変えることがあります。

© 2026年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

クトゥズの物語の典拠

この表は、読者が真正なものと単に有名なものを見分けられるよう、それぞれの物語の典拠と等級をまとめたものです。

物語	典拠	等級
ホラズム王家の血筋	イブン・タグリービルディー；ザハビー	不確か
バグダードの陥落（ヒジュラ暦 656 年）	イブン・カスィール；マクリーズィー	歴史
常に勝ち続ける一団	『サヒーフ・ムスリム』1920	サヒーフ
スルタンとなる（ヒジュラ暦 657 年）	マクリーズィー	歴史
フレグの使者の殺害	マクリーズィー	歴史
イッズ・ブン・アブドゥッサラームのファトワー	スブキー；マクリーズィー	歴史
宗教とは誠実な助言である	『サヒーフ・ムスリム』55	サヒーフ
バイバルスとの和解	マクリーズィー	歴史
ムスリムはムスリムの兄弟	『サヒーフ・ブハーリー』2442	サヒーフ
アイン・ジャールート（ヒジュラ暦 658 年ラマダーン月 25 日）	マクリーズィー；ユーニーニー；イブン・カスィール	歴史
楽園は剣の陰の下にある	『サヒーフ・ブハーリー』2966	サヒーフ
「ワー・イスラーマー！」	マクリーズィー；イブン・カスィール	歴史
アッラーの言葉が最も高くなるために	『サヒーフ・ブハーリー』2810	サヒーフ
クトゥズの暗殺（ヒジュラ暦 658 年）	マクリーズィー；イブン・タグリービルディー	歴史

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

物語	典拠	等級
二人のムスリムが剣で相まみえる	『サヒーフ・ブハーリー』31	サヒーフ
バグダードで数百万人という犠牲者数	イブン・カスィール	誇張

人物・場所・年表

人物	役割
イッズッディーン・アイバク	クトゥズの主人；最初のマムルーク朝スルタン
マンスール・アリー	アイバクの息子；クトゥズに廃される
フレグ・ハン	バグダードを破壊したモンゴルの指揮官
キトブカ	アイン・ジャールートで戦死したモンゴルの指揮官
イッズ・ブン・アブドゥッサラーム	大学者；「学者たちのスルタン」
ルクヌッディーン・バイバルス	先鋒の指揮官；クトゥズの後のスルタン
ムスタアスィム	バグダード最後のアッバース朝カリフ

場所	出来事
バグダード	モンゴルに破壊される（ヒジュラ暦 656 年）
アレッポとダマスカス	モンゴルの手に落ちる（ヒジュラ暦 658 年）
カイロ	マムルーク朝の都
アイン・ジャールート	大勝利（ヒジュラ暦 658 年ラマダーン月 25 日）
ベイサーン	モンゴルの残党を撃破
サーリヒーヤ	クトゥズ暗殺（ヒジュラ暦 658 年）

年	出来事
ヒジュラ暦 648 年	アイバクがマムルーク朝スルタンとなる
ヒジュラ暦 655 年	アイバク殺害；クトゥズが副スルタンとなる
ヒジュラ暦 656 年	バグダードの陥落
ヒジュラ暦 657 年	クトゥズがスルタンとなる

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

年	出来事
ヒジュラ暦 658 年	アレッポとダマスカスの陥落；アイン・ジャールート
ヒジュラ暦 658 年	ダマスカス解放；クトゥズ暗殺

サイフッディーン・クトゥズについてのよくある質問

この章では、サイフッディーン・クトゥズについてよく尋ねられる質問に答えます。答えは簡潔です。詳しくはこれまでの章をご覧ください。

1. サイフッディーン・クトゥズとは誰ですか。

アイン・ジャールートでモンゴルを破った、エジプトのマムルーク朝第3代スルタン（ヒジュラ暦657–658年）です。

2. 本当に王家の血筋だったのですか。

本人はそう主張しましたが、確かめることはできません。

3. マムルークとは何ですか。

少年のころ買われ、教育を受けて解放され、指揮官やスルタンとなった兵士です。

4. バグダードで何が起きましたか。

ヒジュラ暦656年、モンゴルがバグダードを破壊し、カリフを殺しました。

5. 彼はどのようにスルタンになりましたか。

ヒジュラ暦657年、戦いの必要を理由に若いスルタンを廃しました。

6. イッズ・ブン・アブドゥッサラームのファトワーとは何ですか。

将軍たちがまず自らの財を差し出すまでは、民に税を課してはならないというものです。

7. アイン・ジャールートの戦いはいつですか。

ヒジュラ暦658年ラマダーン月25日の金曜日（西暦1260年9月3日）です。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

8.「ワー・イスラーマー」とはどういう意味ですか。

「ああ、イスラームよ！」――ムスリムの戦列が崩れかけたときのクトゥズの叫びです。

9. アイン・ジャールートはなぜ重要なのですか。

エジプト、ヒジャーズ、北アフリカへのモンゴルの進撃を止めたからです。

10. クトゥズは過ちを犯しましたか。

はい。そのなかには、アッラーの使徒 ﷺ の慣行に反するモンゴルの使者の殺害があります。

11. 彼はどのように亡くなりましたか。

エジプトへの帰途、バイバルスを含む将軍たちに殺されました。

12. 彼の物語の最大の教訓は何ですか。

誠実さと犠牲は、短い時間であってもウンマを救いうるということです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

教訓と結び

クトゥズの物語は、最も暗い時にウンマを導き、イスラームのための叫びで勝利しながら、自らの兄弟たちの手に倒れた、かつての奴隷の物語です。

教訓	クトゥズの物語から
絶望しないこと	バグダードの後；イムラーン家章 3:139；『サヒーフ・ムスリム』1920
学者に耳を傾けること	イッズのファトワー；『サヒーフ・ムスリム』55
指導者がまず犠牲を払う	民の税より先に将軍たちの財
団結	バイバルスとの和解；戦利品章 8:46；『サヒーフ・ブハーリー』2442
戦いでの堅固さ	アイン・ジャールート；戦利品章 8:45；『サヒーフ・ブハーリー』2966
宗教のための誠実さ	「ワー・イスラーマー！」；『サヒーフ・ブハーリー』2810
内なる争いの危険	クトゥズの暗殺；『サヒーフ・ブハーリー』31
典拠への誠実さ	検討すべき数字と主張

私たちがクトゥズにならい、ウンマに災厄が降りかかっても絶望せず、学者に耳を傾け、ただアッラーの言葉を高めるために努める者となれますように。

インシャーアッラー、『イスラームの英雄』シリーズは、ザーヒル・バイバルスの物語へと続きます。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

参考文献

クルアーンと注釈

聖クルアーン、ウスマーン版の正書法と三田了一訳。quran.com

イブン・カスィール『偉大なるクルアーンの注釈』（イムラーン家章 3:139；戦利品章 8:45–46）。

ハディース

『サヒーフ・ブハーリー』31、2442、2810、2966。sunnah.com/bukhari

『サヒーフ・ムスリム』55、1920。sunnah.com/muslim

『スナン・アビー・ダーウード』2761（使者の保護）。sunnah.com/abudawud:2761

イブン・ハジャル・アスカラーニー『ファトフ・アル＝バーリー』；ナワウィー『サヒーフ・ムスリム注釈』。

歴史書と伝記

マクリーズィー『諸王朝の知識への道』。

イブン・カスィール『始まりと終わり』。

ユーニーニー『時代の鏡・続編』。

イブン・タグリービルディー『エジプトとカイロの王たちにおける輝く星々』。

スブキー『シャーフィイー派大名士列伝』（イッズ・ブン・アブドゥッサラーム伝）。

Wikipedia「Battle of Ain Jalut」。en.wikipedia.org/wiki/Battle_of_Ain_Jalut

QURANSCIENCE.MY の関連シリーズ

『イスラームの英雄』第 1 巻：ハムザ・ブン・アブドゥルムッタリブから第 21 巻：サラーフッディーン・アイユービーまで。quranscience.my/#pahlawan

支援と寄付

この電子書籍はムスリムのために**完全に無料**で発行されており、**決して販売してはなりません**。研究費、ウェブサイト quranscience.my の運営費、そして次の電子書籍の発行のためのご寄付を心から歓迎します – ただし、**義務ではありません**。アッラーがすべてのご寄付を継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）としてお受け入れくださいますように。

雌牛章 2:261

مَّثَلُ ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُمۡ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ كَمَثَلِ حَبَّةٍ أَنۢبَتَتۡ سَبۡعَ سَنَابِلَ فِي كُلِّ سُنۢبُلَةٖ مِّاْئَةُ حَبَّةٖۗ وَٱللَّهُ يُضَٰعِفُ لِمَن يَشَآءُۚ وَٱللَّهُ وَٰسِعٌ عَلِيمٌ ٢٦١

アッラーの道のために自分の所有するものを施す者を例えてみれば、ちょうど 1 粒が 7 穂を付け、1 穂に百粒を付けるのと同じである。アッラーは御心に適う者に、倍加してくださる。アッラーは厚施にして全知であられる。

訳：三田了一 — quran.com/2:261

サバア章 34:39

قُلۡ إِنَّ رَبِّي يَبۡسُطُ ٱلرِّزۡقَ لِمَن يَشَآءُ مِنۡ عِبَادِهِۦ وَيَقۡدِرُ لَهُۥۚ وَمَآ أَنفَقۡتُم مِّن شَيۡءٖ فَهُوَ يُخۡلِفُهُۥۖ وَهُوَ خَيۡرُ ٱلرَّٰزِقِينَ ٣٩

言ってやるがいい。『本当にわたしの主は、そのしもべの中から御心に適う者に、御恵みを豊かに与えまた或る者には乏しく授けられる。かれはあなたがたが（主の道のために）施すものはすべて返される。かれは最も優れた御恵を与える方であられる。』

訳：三田了一 — quran.com/34:39

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 2588 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، وَابْنُ، حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - وَهُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، عَنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « مَا نَقَصَتْ صَدَقَةٌ مِنْ مَالٍ وَمَا زَادَ اللَّهُ عَبْدًا بِعَفْوٍ إِلاَّ عِزًّا وَمَا تَوَاضَعَ أَحَدٌ لِلَّهِ إِلاَّ رَفَعَهُ اللَّهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「施しは財産を減らさない。人を赦すしもべに、アッラーは尊厳しか増し加えない。アッラーのためにへりくだる者を、アッラーは必ず高められる。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドゥッラフマーン ← 父 アブドゥッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه 。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』善行・親族の絆・作法の書、赦しと謙虚さを勧めることの章、ハディース第 2588 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：sunnah.com/muslim:2588

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 1631 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، - يَعْنِي ابْنَ سَعِيد - وَابْنُ حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - هُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « إِذَا مَاتَ الإِنْسَانُ انْقَطَعَ عَنْهُ عَمَلُهُ إِلاَّ مِنْ ثَلاَثَةٍ إِلاَّ مِنْ صَدَقَةٍ جَارِيَةٍ أَوْ عِلْمٍ يُنْتَفَعُ بِهِ أَوْ وَلَدٍ صَالِحٍ يَدْعُو لَهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「人が死ぬと、その行いは三つを除いて途絶える。継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）、役に立つ知識、またはその人のために祈る正しい子どもである。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドッラフマーン ← 父 アブドッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه 。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』遺言の書、死後に人に届く報奨の章、ハディース第 1631 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：sunnah.com/muslim:1631

ジャザークムッラーフ・ハイラン・カスィーラ（多大なる善い報いがありますように）



上の QR コード（DuitNow）を読み取って寄付できます。

海外からのご寄付：上の PayPal QR コードを読み取るか、こちらへ paypal.me/quranscience